



株式会社クレオ

みなさまと共創していく、これからの未来  
**We want to create the future with you.**

# 第47期 Business Report

2019年4月1日～2020年3月31日

株式会社クレオ

証券コード：9698



代表取締役社長  
柿崎 淳一

## 21期ぶりに過去最高益を更新、 新中期経営計画のもとでさらなる成長へ

平素より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

2020年3月期を最終年度とした3ヶ年の中期経営計画において、働き方改革への取り組み拡大など良好な市場環境のもと、社員一人ひとりの意識改革と努力によって、過去最高益を更新するなど大きな成果を上げることができました。今後も持続的な成長を実現すべく、様々な課題に取り組んでまいります。

株主の皆様におかれましては、一層のご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

**Q 2020年3月期の業績について、好調の要因をお聞かせください。**

**A** 2020年3月期の業績は、働き方改革を背景とした人事給与関連システムへの需要増や、企業活動の変革へ向けた既存基幹システムのリプレイス増など、企業のIT需要拡大を確実に取り込むことができ、増収増益となりました。特に営業利益は、2020年3月期を最終年度とする中期経営計画において、当初定めた過去最高益8億80百万円を上回る10億円の計画に対し、10億44百万円となり、21期ぶりに過去最高益を更新することができました。

当期の業績が好調であった要因は、HRソリューションを中心としたソリューションサービス事業が大きく伸長したこと

に加え、他の4事業においても堅調に業績が拡大したことによりです。

**Q これまでの中期経営計画において、最大の成果は何だったでしょうか。**

**A** 3ヶ年中期経営計画のスタート時にあたる2017年4月、クレオグループを新しい成長の流れに乗せるために、当時の連結子会社5社を当社と合併し、組織の再編を行いました。再編の目的は、グループ各社に散在・偏在してしまったサービスや人財、ノウハウを集約し、最適配置することでした。各部門の垣根を取り払ったことより、単品の「モノ（製品）」を売ることから、「コト（ソリューション）」を提供することが

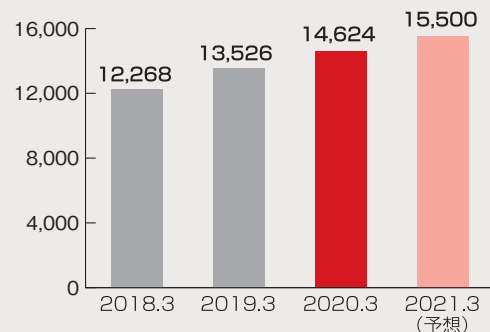
可能になりました。そして「点」から「面」での事業展開へと変化したことで、顧客内シェアの拡大が実現しました。特に、本計画において成長事業と位置付けたソリューションサービス事業は、グループの総合力を活かして大型商談の受注に成功するなど、当社グループの収益の牽引役に成長しました。

**Q 新型コロナウイルス感染拡大の影響はいかがですか。**

**A** 新型コロナウイルスの感染拡大によって経済が停滞する厳しい状況の中で、デジタル技術を活用し、情報を企業価値創出の源とした投資は今後も続くものと認識しています。現時点で当事業への直接的な影響は小さ

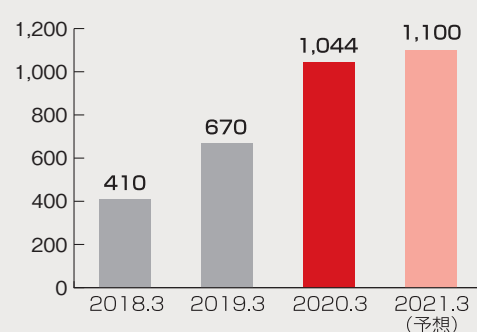
売上高

(単位：百万円)



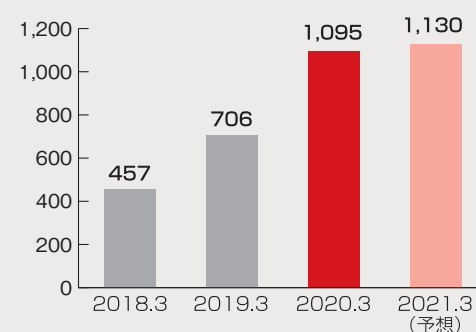
営業利益

(単位：百万円)



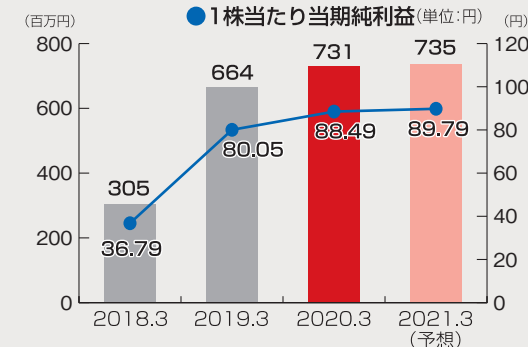
経常利益

(単位：百万円)



親会社株主に帰属する当期純利益

(単位：百万円)

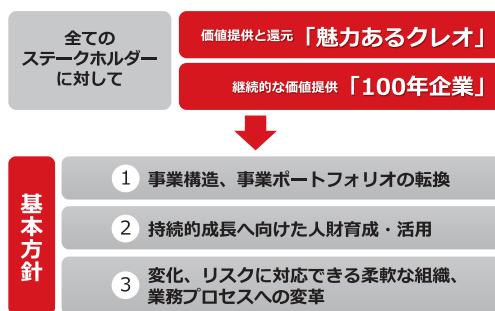


く、足元の需要は引き続き堅調ですが、ICTサービス市場においては、景気の影響が半年ほど遅れる傾向があり、今後も関連情報の収集と影響の分析を進め、環境の変化に機動的に対応してまいります。

## Q 新たな中期経営計画がスタートしています。基本方針と戦略をお教えてください。

A 当社は、新たに3ヶ年の中期経営計画(2021年3月期～2023年3月期)を策定しました。2024年に創業50周年を迎える当社は、「100年企業」を目指し中長期的な視点で事業運営を進めていますが、新中期経営計画は、そのための持続的な成長と企業価値向上を可能にする「仕組み作り」をキーワードとして展開していきます。基本方針としては、①事業構造、事業ポートフォリオの転換、②持続的成長に向けた人財育成・活用、③変化、リスクに対応できる柔軟な組織、業務プロセスへの変革を掲げています。

事業構造、事業ポートフォリオの転換については、成長を牽引するソリューションサービス事業へ経営資源の集中を図ります。同事業では、お客様企業との共創型受託開発や、主力サービスのHRソリューションが拡大する一方で、人財の確保が課題となってきました。そのため、グループ内での事業をまたがったリソースの連携を進め、ソリューションサービス事業を



### ■持続的成長・企業価値向上の仕組み作り

より安定的に成長させてまいります。

人財育成・活用については、将来世代のリーダー育成、グローバル人財の育成、技術者のレベルアップに注力してまいります。

変化、リスクに対応できる柔軟な組織、業務プロセスへの変革については、経済合理性を追求し、より収益性の高い事業への人財シフトや将来の事業リスクを想定したジョブ転換を図ってまいります。また、業務プロセスの変革として、BCP(事業継続計画)視点からテレワークを軸にした構築を進め、生産性の向上にも対応してまいります。

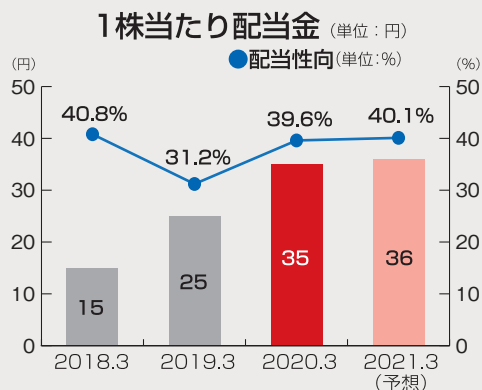
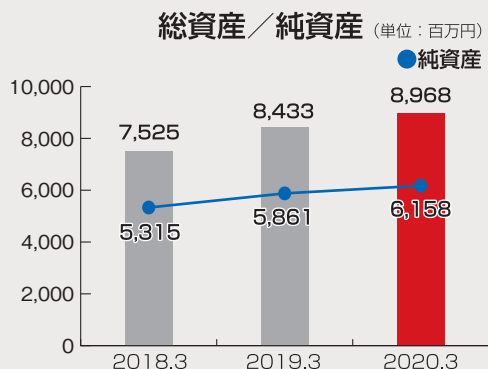
目標とする経営指標としては、本計画の3年間を大きく「質」の転換を図る期間と捉え、「質」の指標として「営業利益率」の向上を最重要指標に位置付けます。本計画最終年度に

あたる2023年3月期の数値目標として、売上高180億円、営業利益率10%を目指してまいります。

## Q 最後に、株主の皆様へのメッセージをお願いします。

A 当社は、継続的な価値提供によって、来るべき50周年に向け、そしてその先の50年もすべてのステークホルダーの皆様にとって「魅力あるクレオ」として存在し続け、社会に貢献することで「100年企業」の実現を目指してまいります。

株主の皆様には、引き続きご支援を賜りますよう、お願い申し上げます。

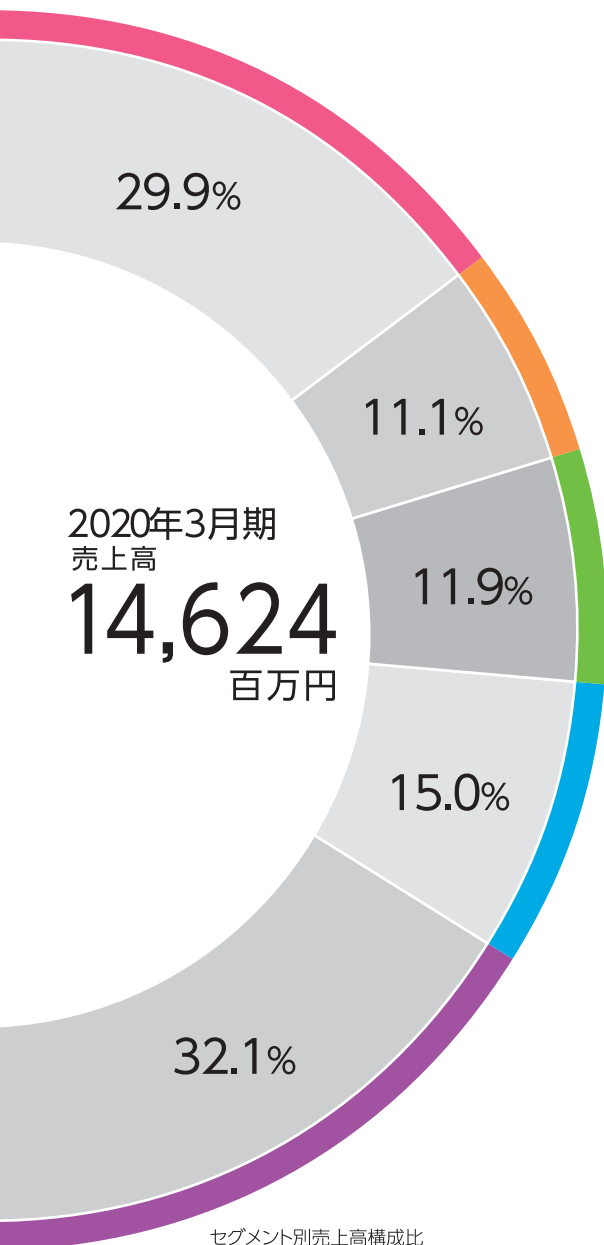


## 利益配分に関する基本方針と当期・次期の配当について

当社は株主の皆様への剰余金処分を経営の重要な政策の一つとして考えております。配当に関しては長期的な視点に立ち、連結経営成績に応じた安定的な利益の配分を基本方針としております。また、株主の皆様への長期的な利益還元をさらに充実させるため、連結配当性向40%を目標としております。

2020年3月期については、1株当たりの配当金を、前期比10円増配の35円といたしました。配当性向については39.6%となりました。

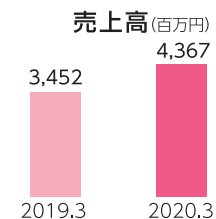
また、2021年3月期の配当金につきましては、1株当たり36円、配当性向40.1%を予想しております。



## ソリューションサービス事業

売上高 **4,367** 百万円 営業利益 **876** 百万円  
前期比 26.5%増 前期比 47.7%増

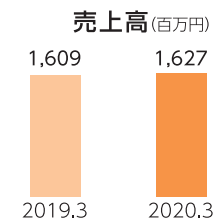
既存大口顧客向けシステム開発案件の売上が増加したことなどにより、売上高は前期比で9億14百万円増加、営業利益は前期比で2億83百万円増加しました。



## 受託開発事業

売上高 **1,627** 百万円 営業利益 **255** 百万円  
前期比 1.1%増 前期比 23.2%減

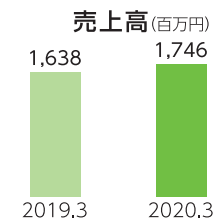
ソリューションサービス事業との共同プロジェクトに当事業の技術者を配置したことで、売上高は前期比で17百万円増加、営業利益は前期比で77百万円減少しました。



## 西日本事業

売上高 **1,746** 百万円 営業利益 **263** 百万円  
前期比 6.6%増 前期比 54.4%増

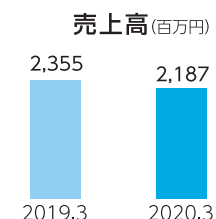
人事給与ソリューションを中心に売上が堅調だったことにより、売上高は前期比で1億8百万円増加、営業利益は前期比で92百万円増加しました。



## システム運用・サービス事業

売上高 **2,187** 百万円 営業利益 **198** 百万円  
前期比 7.2%減 前期比 23.9%増

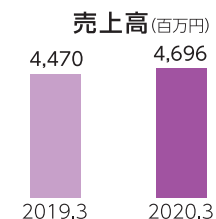
減収となったものの、稼働率の改善や費用削減の効果が表れたことにより、売上高は前期比で1億68百万円減少、営業利益は前期比で38百万円増加しました。



## サポートサービス事業

売上高 **4,696** 百万円 営業利益 **309** 百万円  
前期比 5.1%増 前期比 42.3%増

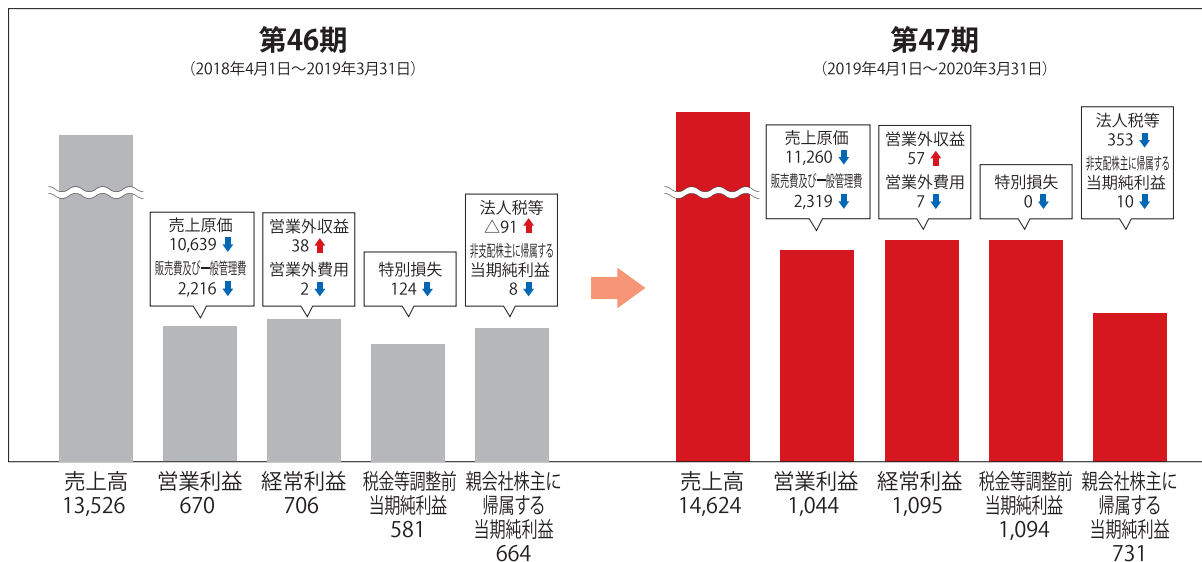
受注が堅調なことに加え、残業抑制などの原価削減の取り組み効果などにより、売上高は前期比で2億26百万円増加、営業利益は前期比で92百万円増加しました。



# 財務データ

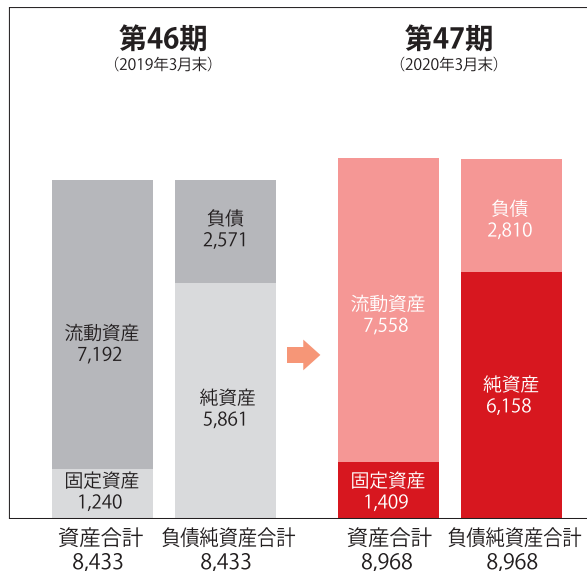
## 連結損益計算書の概要

(単位:百万円)



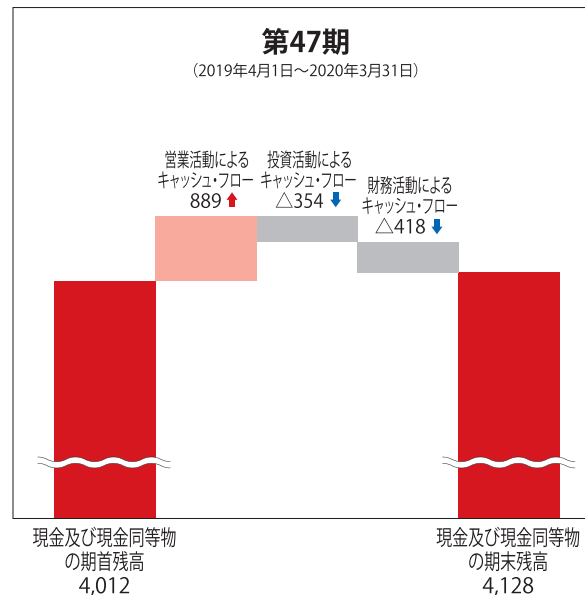
## 連結貸借対照表の概要

(単位:百万円)



## 連結キャッシュ・フロー計算書の概要

(単位:百万円)



|                              | 第46期   | 第47期   |
|------------------------------|--------|--------|
| <b>経営成績</b><br>(単位:百万円)      |        |        |
| 売上高                          | 13,526 | 14,624 |
| 売上総利益                        | 2,887  | 3,364  |
| 営業利益                         | 670    | 1,044  |
| 経常利益                         | 706    | 1,095  |
| 税金等調整前当期純利益                  | 581    | 1,094  |
| 親会社株主に帰属する当期純利益              | 664    | 731    |
| <b>財政状態</b><br>(単位:百万円)      |        |        |
| 資産合計                         | 8,433  | 8,968  |
| 流動資産                         | 7,192  | 7,558  |
| 固定資産                         | 1,240  | 1,409  |
| 負債合計                         | 2,571  | 2,810  |
| 流動負債                         | 2,446  | 2,696  |
| 固定負債                         | 124    | 113    |
| 純資産合計                        | 5,861  | 6,158  |
| <b>キャッシュ・フロー</b><br>(単位:百万円) |        |        |
| 営業活動によるキャッシュ・フロー             | 900    | 889    |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー             | △ 236  | △ 354  |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー             | △ 135  | △ 418  |
| 現金及び現金同等物の期末残高               | 4,012  | 4,128  |
| <b>1株当たり情報</b><br>(単位:円)     |        |        |
| 1株当たり当期純利益                   | 80.05  | 88.49  |
| 1株当たり純資産                     | 701.42 | 750.33 |
| 1株当たり配当金                     | 25.00  | 35.00  |
| <b>財務指標</b>                  |        |        |
| 自己資本当期純利益率(ROE)              | 12.0%  | 12.2%  |
| 総資産経常利益率(ROA)                | 8.9%   | 12.6%  |
| 自己資本比率                       | 69.0%  | 68.5%  |



TOPICS

1

## 創業45周年を記念してイベントを開催しました

1974年に株式会社東海フリエイトとして創立した当社は、2019年3月、おかげさまで創業45周年を迎えました。これまで当社の成長を支えてきた社員の皆さんとともに、45周年の記念イベントとして、関西地区ではユニバーサル・スタジオ・ジャパン、東京地区は船上パーティを開催しました。100年企業に向けて、当社の最重要資産である社員（人財）の一層の活躍が期待できる、盛大なイベントとなりました。



TOPICS

2

## 経済産業省「健康経営優良法人2020」に認定されました

昨年に続き、2020年3月に経済産業省と日本健康会議が進める健康経営優良法人認定制度において「健康経営優良法人2020（大規模法人部門）」に認定されました。健康経営優良法人認定制度とは、従業員の健康管理を経営的な視点で考え、戦略的に取り組む法人の中で特に優良な健康経営を実践している法人を、健康経営のリーディングカンパニーとして評価・認定する制度です。当社は、2018年5月に「健康経営宣言」を制定し、社名の由来でもある「創造」を支えるのは社員の健康であるとの考えのもと、社員が心も体も健康であり続け、長い期間に渡り生き生きと活躍できるよう、戦略的な健康の保持・増進に取り組んでまいります。



TOPICS

3

## 東京消防庁より救命講習受講優良証の交付を受けました

2019年10月、東京消防庁の「応急手当奨励制度」による「救命講習受講優良証」の交付を受けました。100年続く企業を目指す当社は、BCP／BCM（事業継続マネジメント）活動の一環として、災害などの不測の事態に対応するためのレジリエンス力（回復力）強化を進めています。日頃より、社員の防災・減災意識を高めるとともに、災害時に限らず、平時においても緊急事態に対応できるよう普通救命講習の受講を推奨し、社員個々人が社会の一員として人命救助に資するべく、今後とも継続的に救命講習に取り組み社会に貢献してまいります。



## 会社概要／株式の状況

### ◆会社概要

|         |                       |
|---------|-----------------------|
| 商 号     | 株式会社クレオ               |
| 所 在 地   | 東京都品川区東品川四丁目10番27号    |
| 役 員     | (2020年6月23日現在)        |
| 代表取締役社長 | 柿崎 淳一                 |
| 取締役会長   | 阿南 祐治                 |
| 専務取締役   | 寺崎 功                  |
| 社外取締役   | 井原 邦弘                 |
| 社外取締役   | 春木 謙一                 |
| 社外取締役   | 鈴木 良之                 |
| 常勤監査役   | 雨田 高志                 |
| 社外監査役   | 宮澤 求(公認会計士)           |
| 社外監査役   | 渡辺 伸行(弁護士)            |
| 設 立     | 1974年3月22日            |
| 資 本 金   | 3,149,650千円           |
| 連結売上高   | 14,624百万円 ※2020年3月期実績 |
| 従 業 員 数 | 連結 1,190人<br>単体 475人  |

### ◆株式の状況 (2020年3月31日現在)

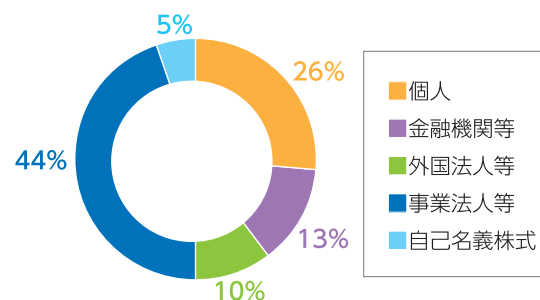
発行済株式総数 8,650,369株  
株主数 1,729名

#### 大株主 (2020年3月31日現在)

| 株主名                         | 持株数(千株) | 持株比率(%) |
|-----------------------------|---------|---------|
| アマノ株式会社                     | 2,645   | 32.3    |
| Zホールディングス株式会社               | 1,100   | 13.4    |
| 日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)   | 462     | 5.7     |
| GOLDMAN SACHS INTERNATIONAL | 320     | 3.9     |
| 日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)     | 181     | 2.2     |
| MSIP CLIENT SECURITIES      | 139     | 1.7     |
| クレオ従業員持株会                   | 135     | 1.7     |
| 和田 正次                       | 134     | 1.6     |
| 三木 美枝                       | 130     | 1.6     |
| 資産管理サービス信託銀行株式会社(証券投資信託口)   | 125     | 1.5     |

(注) 1. 当社は自己株式を464千株保有しておりますが、上記大株主からは除外しております。  
2. 持株比率は自己株式を控除して計算(小数点第二位を四捨五入)しております。

#### 所有者別株主分布状況



### ◆WEBサイトのご案内

当社ホームページでは、詳細なIR情報や財務情報など、株主・投資家様向けの情報の掲載はもちろんのこと、メールによる「IRメール配信サービス」も行っております。是非一度ご覧ください。



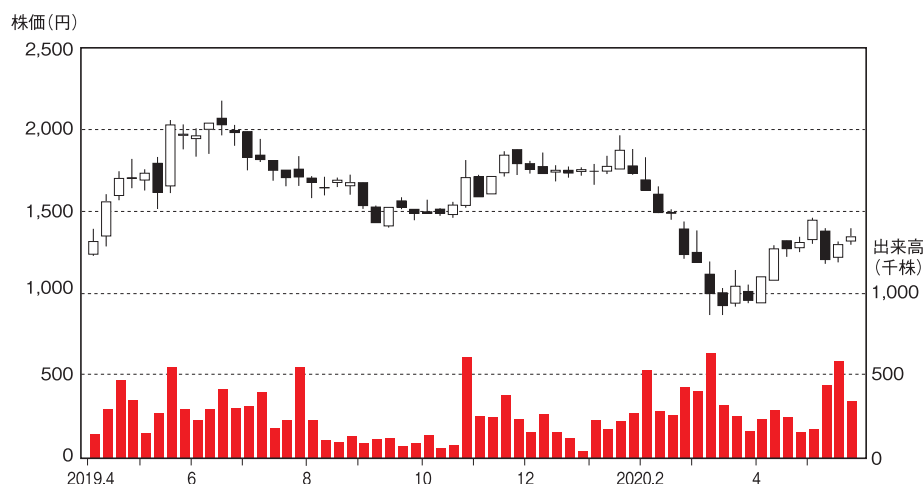
<https://www.creo.co.jp/ir/>



## 株主メモ

|                        |                                                                                                                                                  |
|------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 事業年度                   | 4月1日～翌年3月31日                                                                                                                                     |
| 期末配当金受領<br>株主確定日       | 3月31日                                                                                                                                            |
| 中間配当金受領<br>株主確定日       | 9月30日                                                                                                                                            |
| 定時株主総会                 | 毎年6月                                                                                                                                             |
| 株主名簿管理人<br>特別口座の口座管理機関 | 三菱UFJ信託銀行株式会社                                                                                                                                    |
| 同連絡先                   | 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部<br>東京都府中市日鋼町1-1<br>TEL 0120-232-711 (通話料無料)<br>郵送先 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号<br>三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部                            |
| 上場証券取引所                | 東京証券取引所 ジャスダック市場                                                                                                                                 |
| 公告の方法                  | 電子公告の方法により行う。<br>公告掲載URL <a href="https://www.creo.co.jp">https://www.creo.co.jp</a><br>(ただし、電子公告によることができない事故その他やむを得ない事由が生じた場合は、日本経済新聞に公告いたします。) |

## 株価と出来高の推移



## 理念・行動規範

### 企業理念

私たちは、「人間の想像力」と「世界中のテクノロジー」を結合することで、「感動！」を生む変革を起こし、豊かな未来社会の実現を目指します。

### 行動指針

#### ～幸せな企業人であり続けるための7つの行動～

1. 感謝の気持ちを忘れない
2. 信頼すること、されることを重んじる
3. いつも誠実に行動する
4. 心も技術も磨き続ける
5. より健康であり続ける
6. 恐れずに何ごとにも挑戦する
7. 仕事にも社会にも人生にも成果を出す



このロゴには、3つの「想い」が込められています。

#### 1つは「感動」を生むこと

クレオは「感動」を提供する企業です。常に周囲の期待を超え、驚きを提供していく姿をロゴに託しました。ロゴはエクスクラメーションマーク(感嘆符)をかたどりしました。球形はクレオ自身を表します。共に語り、共に考え、共に成長するという共創の精神を象徴しています。

#### 1つは「創造」し続けること

クレオの歴史は創造の歴史です。ロゴは、知識や技術、関係の新たな結びつき(新・結合=イノベーション)を発見、創造し続ける決意を象徴しています。クレオ自身を示すこの球体から、次代を担う人財、製品、サービスが次々と生まれ、大きく育っていく姿を表しています。100年企業を目指し、時代時代にあわせ、変化し続ける姿です。

#### 1つは「永遠(とわ)」に寄り添うこと

クレオはいつもステークホルダーの皆様に関わり添う企業でありたいという願いを込めました。ロゴは、クレオ自身である球体が、お客様や社会、株主の皆様に関わり添っているというイメージを表現しています。社会に貢献できる価値を提供し続ける企業であるという私たちの願いを象徴しました。